

H24. 3.19 未成年者喫煙防止対策検討会

公立小・中・高等学校 児童生徒の喫煙状況調査

青森県健康福祉部
がん・生活習慣病対策課

Aomori Pref. Gov., Dep. of Health and Welfare Y. Yamada

調査の概要

1 調査目的
未成年者の喫煙調査については、平成19年度に実施しているが、タスポの導入やタバコの値上げなどタバコを取り巻く環境の変化に伴い、未成年者の喫煙の現状に変化がみられていると思われることから、本調査を実施することとした。

2 調査対象
県内の公立小・中・高校生
小・中学校については市町村毎に、高等学校については圏域毎に1/3以上の抽出となるよう無作為抽出した。
ただし、小学校は5年生、中学校は1年生と3年生、高校生は3年生とした。

Aomori Pref. Gov., Dep. of Health and Welfare Y. Yamada

調査の概要

3 調査期間
平成23年8月29日～9月30日

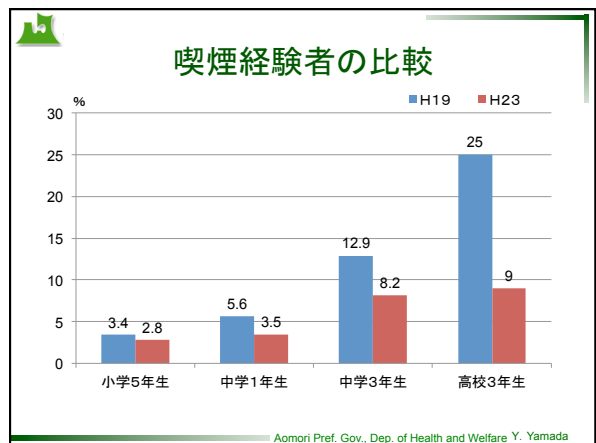
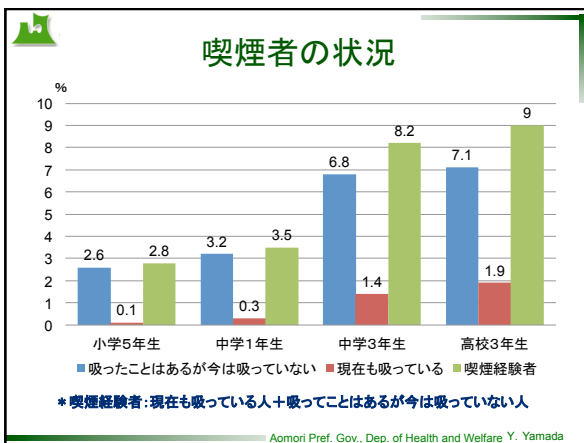
4 調査方法
(1)本調査は、個別指導のために実施するものではないため、質問紙と一緒に封筒を配付し、各自が記入後封筒に入れたものを回収する。
(2)本調査は、教室で記入し、自宅に持ち帰らないこととする。
(3)集計にあたっては、個人・学校が特定できないようにする。

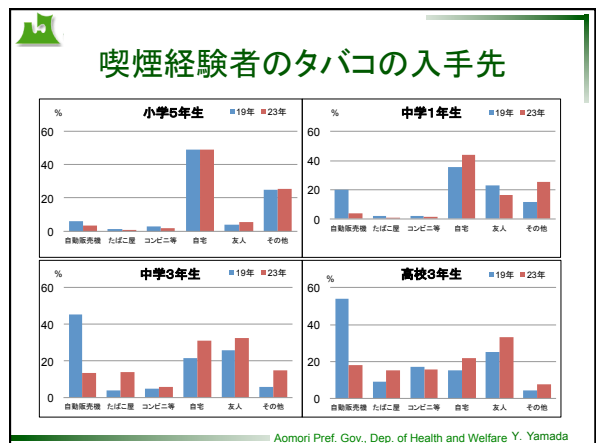
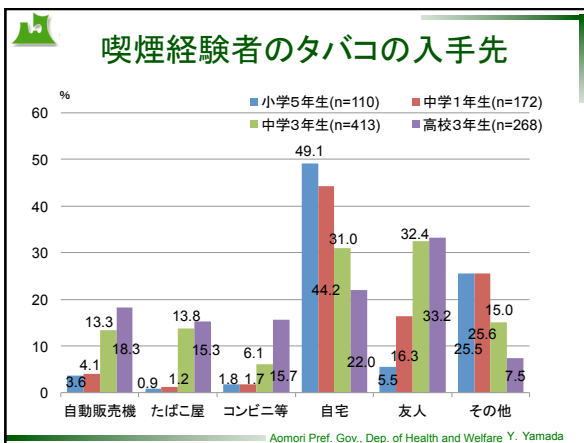
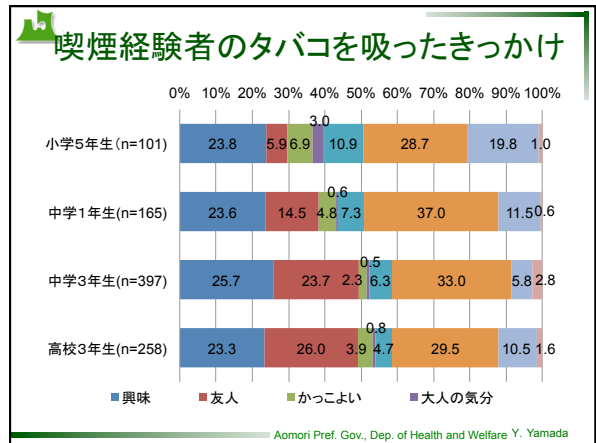
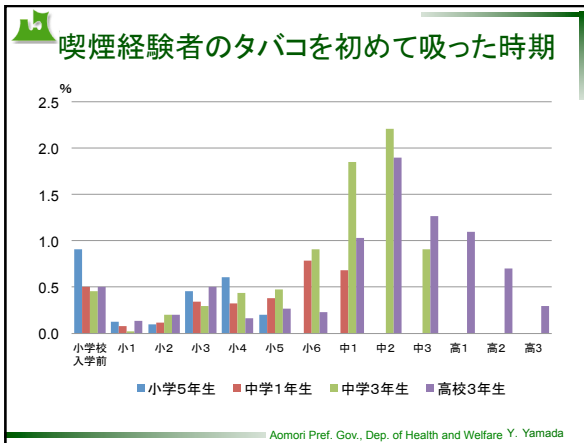
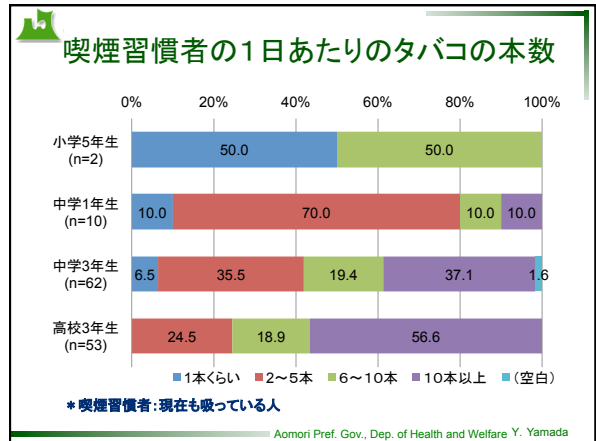
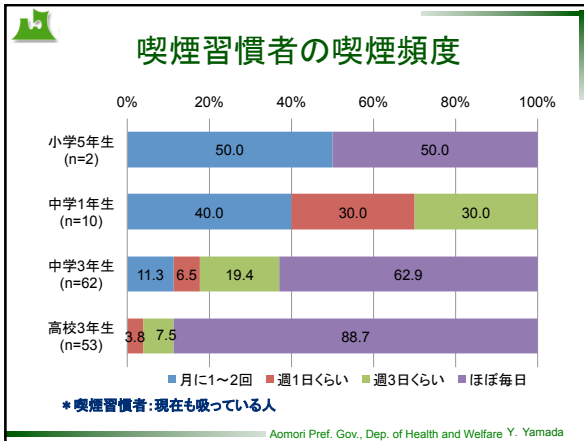
Aomori Pref. Gov., Dep. of Health and Welfare Y. Yamada

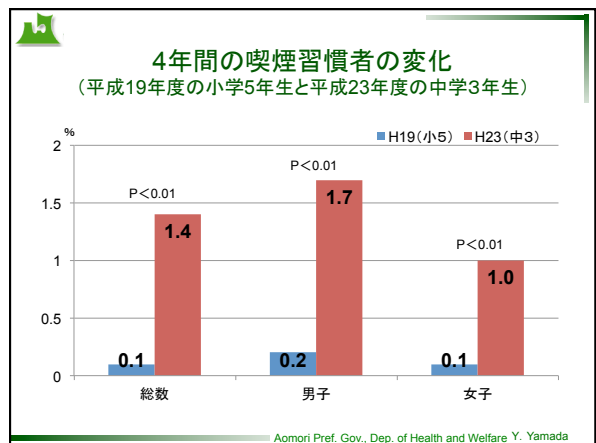
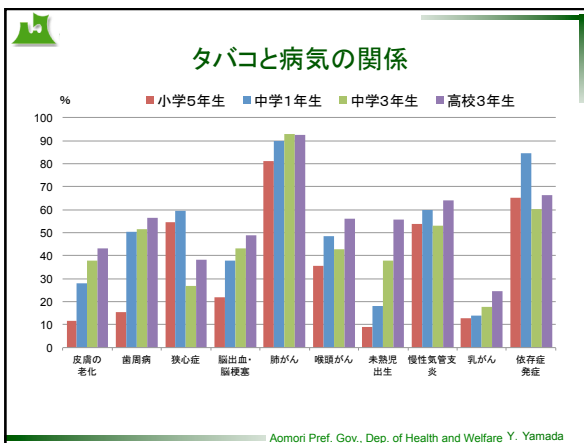
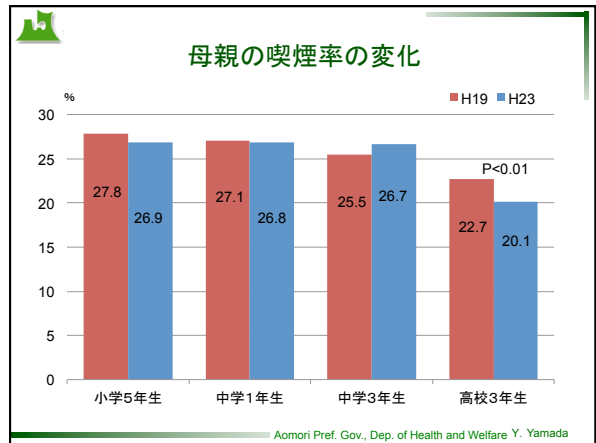
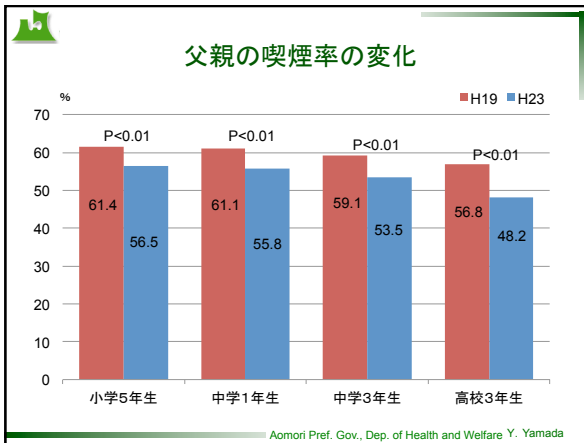
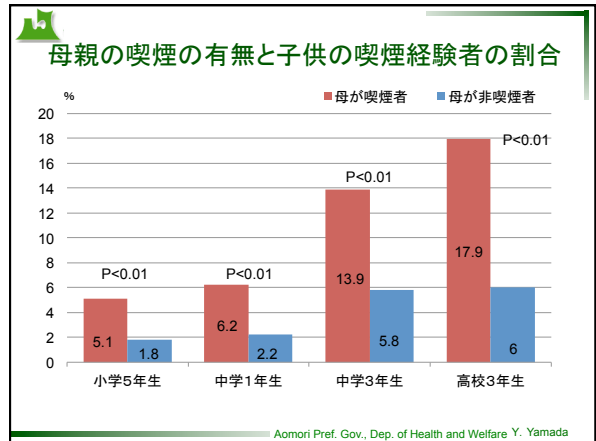
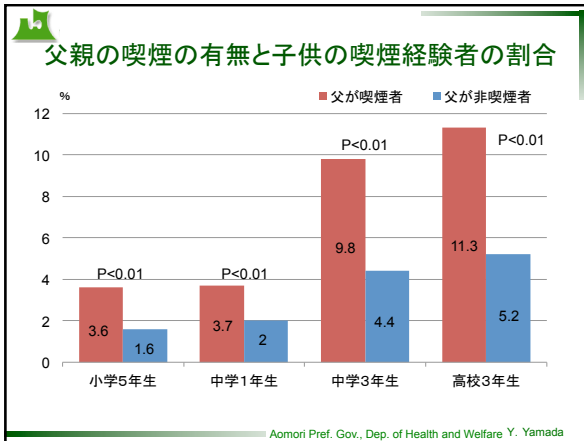
調査票回収率

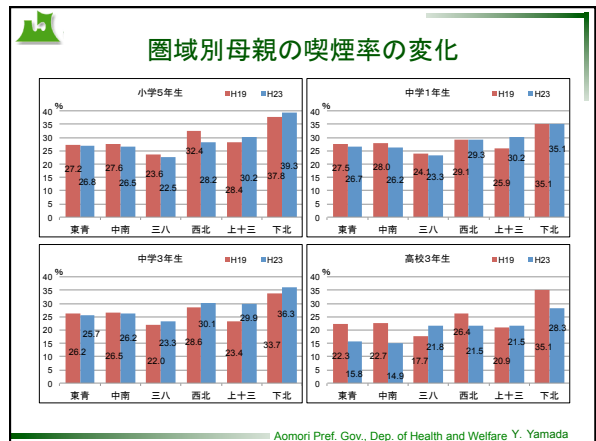
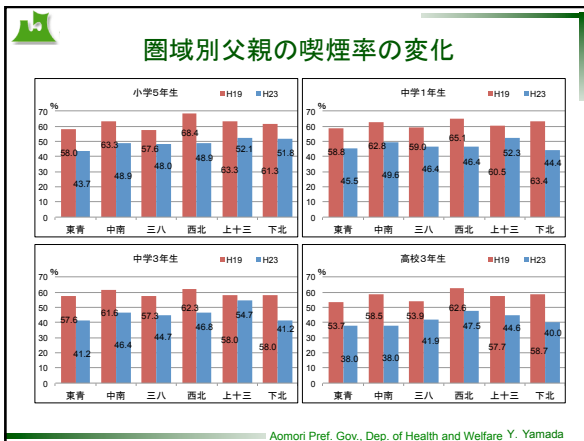
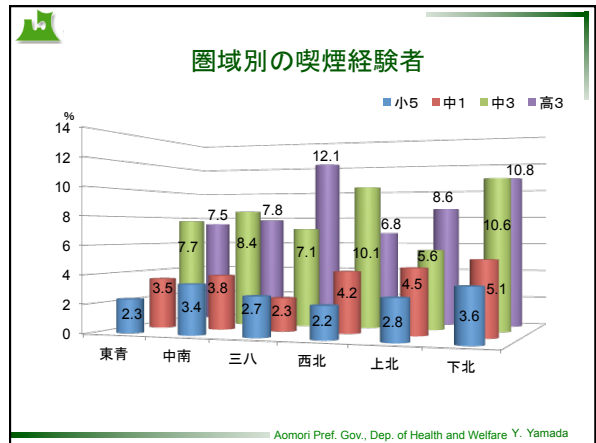
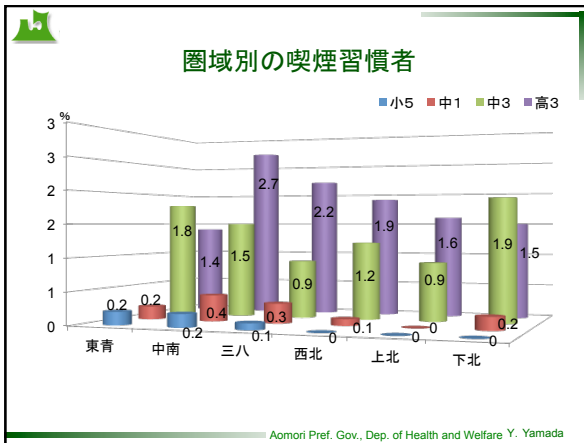
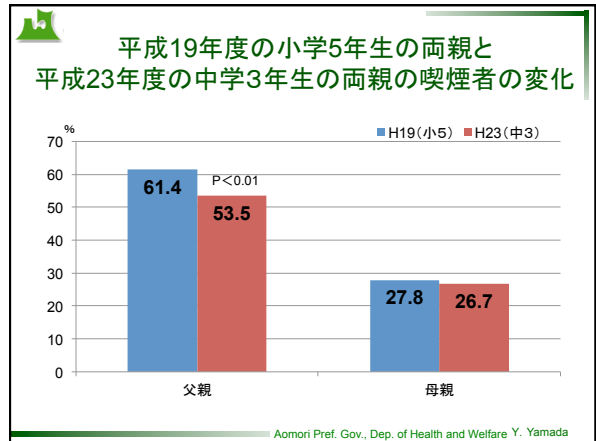
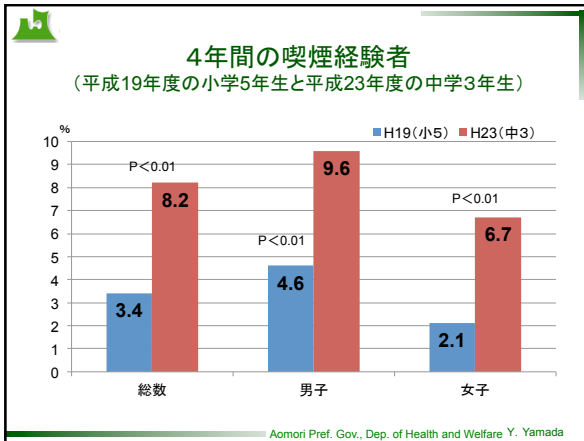
対象学年	小学5年生	中学1年生	中学3年生	高校3年生	計
対象校数	124	71		23	218
調査回答校数	102	56		22	180
回収数	3,988	4,978	5,065	3,007	17,038
有効回答数	3,964	4,945	5,029	2,994	16,932
実施率(学校数)	82.3	78.9		95.7	82.6

Aomori Pref. Gov., Dep. of Health and Welfare Y. Yamada











調査のまとめ

1 未成年者の喫煙について

平成19年度の調査と比較すると、小学5年生では変化がみられず、その他の学年では有意に減少し、特に、喫煙経験者のうち、高校3年生は、半数以下に減少していた。喫煙率の減少は、タスポの導入、タバコの値上げ、学校の敷地内禁煙などの影響によるものと考えられる。

タバコの入手先については、中学1年生までは自宅が多く、学年が上がると友人が多かった。自動販売機については、中学1年生から高校3年生で有意に減少しており、タスポ導入の効果もあると考えられる。

自宅や友人から入手したと回答している割合が増加したが、友人からもらったタバコも友人が自宅から持ってきていることも考えられ、家庭におけるタバコの管理や両親等の喫煙が影響していると思われる。

Aomori Pref. Gov., Dep. of Health and Welfare Y. Yamada



調査のまとめ

2 親の喫煙について

平成19年度の調査と比較すると、父親はどの学年でも有意に減少していたが、母親は高校3年生のみ有意な減少であり、中学3年生では増加、そのほかの学年でも横ばいとなり、母親の喫煙率は改善していない現状がわかった。

親が喫煙していると、子どもが喫煙している割合が有意に高く、家族の喫煙が子どもの喫煙行動に影響を与えている傾向は前回調査と同様であった。

3 タバコと病気の関係についての認識度

どの学年でも「肺がん」との影響は80～90%の回答で最も高く、ついで「依存症」60～80%の回答であったが、乳がんについては20%以下低かった。「狭心症」「依存症」については、中学3年、高校3年生になると認識度が低下していることから、タバコの健康への影響を正しく伝えていく必要があると思われる。

Aomori Pref. Gov., Dep. of Health and Welfare Y. Yamada



今後の対策

1 未成年者の喫煙防止について

- ・学校・家庭・地域が連携した対策を引き続き検討し、実践していく必要がある。
- ・家庭でのタバコの保管や喫煙場所などタバコに関する正しい知識を保護者に持ってもらうよう説明する機会を設ける。(禁煙支援も含む)
- ・学校においては、敷地内全面禁煙を推進する。

2 知識の普及啓発

- ・児童生徒、学校関係者、保護者に対する正しい知識の普及啓発
- ・禁煙相談についての普及啓発

Aomori Pref. Gov., Dep. of Health and Welfare Y. Yamada